

令和6年度 学校図書館教育全体計画

総合的な学習の時間の指導の重点
 自立力として「学び方やものの考え方を身に付ける力」、社会力として「よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力」の育成を重点として指導し、知識を活用する力の充実を図る。そのために、次の四つの力の育成を柱として設定し、各教科、道徳、特別活動との関連に留意して取り組む。
 1 課題発見力
 2 課題解決力
 3 整理分析力
 4 意見表現力

特別活動の指導の重点
 望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の身長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

道徳教育の指導の重点
 学校の全教育活動を通して、よりよく生きるためにいかに生きるべきかを自ら考え続ける姿勢を養う。学級活動や生徒会活動及び宿泊行事等の特別活動との関連を深め、「考える道徳、議論する道徳」の実践を図る。

進路指導の重点
 自立力として「自己理解を深め、自己実現を目指して行動する力」、社会力として「家庭や地域社会等を基盤として、自己の将来の生き方を幅広く考える力」の育成を重点として取り組む。

各教科の学習との関連

国語	・教科書に掲載されている本の紹介 ・読書案内 ・集団読書
社会	・地図や統計資料の活用 ・地理・歴史・公民における調べる学習
数学	・数学の歴史や数学者の伝記等を扱った書物の紹介
理科	・統計資料の活用 ・自然現象を扱った図鑑等を用いた調べる学習
英語	・英語で書かれた短編小説や絵本の読解 ・日本文化、東京を扱った書物の紹介
音楽	・世界各地の音楽の学習 ・日本の伝統音楽の学習
美術	・作品制作の資料 ・美術全集の鑑賞
保健体育	・様々なスポーツの解説 ・健康や病気等に関する調べる学習 ・スポーツ選手の伝記紹介
技術家庭	・様々な産業の紹介 ・技術者や職人の世界を描いた本の紹介 ・衣食住に関する資料紹介

- ・日本国憲法・教育基本法
- ・学校教育法・学習指導要領
- ・子どもの読書活動の推進に関する法律
- ・東京都教育ビジョン
- ・杉並区教育ビジョン
- ・杉並区子供読書活動推進計画

本校の教育目標
「自立力・社会力」
 (1) 自立力 自らに対する思い 主体的に学び、行動する力
 (2) 社会力 社会(集団)に対する思い 構想・創造・運営・改革する力

学校図書館教育目標
～生き抜く力の土壌を作る読書活動の推進～
 ○読書に親しもうとする態度を養う。
 ○読書活動を通じて、豊かな言語表現力を育む。
 ○情報活用能力を育て、調べたことを伝え合う活動を通して、生きる力を育む。

重点目標
 ○生徒が読書に親しむ環境を整えるとともに、読書の習慣化を促す。
 ○公立図書館や学校司書と連携・協力し、より多くの中学生にふさわしい図書を生徒に紹介する。
 ○学校司書と連携・協力し、学校図書館を活用した学習活動(調べる学習、伝え合う学習等)を行う。
 ○人権関係図書を充実させ、人権教育の定着化を図る。

機能ごとのめあて

第1学年	第2学年	第3学年
【学習センター】 学習したことに関連する資料を参照することができる。 【情報センター】 図書館資料の活用の仕方を学ぶ。 【読書センター】 読書に親しみ自分の考えを広げることができる。	【学習センター】 学習したことを自らの主体的に深めることができる。 【情報センター】 多様な媒体から情報を得ることができる。 【読書センター】 幅広い分野の図書に親しむ。	【学習センター】 資料を活用して自らの課題の解決を図ることができる。 【情報センター】 効果的に情報を活用しながら自分の意見を発信できる。 【読書センター】 幅広い分野の図書に親しみ、自分の考えを深める。

読書活動推進プラン
 ・朝読書の時間を設け、読書の習慣化を促す。
 ・夏季休業中前に、杉並区教育研究会作成の中学生向け図書リストを生徒に配布し、読書活動を促進する。
 ・休み時間や放課後の時間の開館、長期休業中の開館を行い、生徒の図書館利用を促進する。
 ・学校の全教育活動において、学校図書館を積極的に活用し、生徒の言語表現力、情報活用能力を育成する。
 ・学校司書による読み聞かせやブックトーク等を実施し、多くの図書に興味・関心を持たせる。
 ・学校司書によるレファレンスサービスの充実を行う。
 ・万遍なく図書を収集し、調べ学習等で活用できる本を増やし、学習情報センター機能の充実を図る。
 ・学校図書館行事や公共図書館との連携行事を実施し、学校・家庭・地域が一体となり読書活動を推進する。

図書委員会の活動

○図書委員会の活動を活性化し、生徒の読書意欲を喚起する。
 ・図書便りの発行や昼休みイベント、おすすめの本の紹介、地域との連携活動等を行う。
 ・図書館において、昼休みの貸出・返却、書架整理等を行う。また、学級において朝読書の本の管理を行う。
 ・生徒会朝礼や学活で図書貸出やマナー等の呼びかけを行う。

生徒や地域の実態
【生徒の実態】
 ・読書量に生徒間の差がある。
 ・文学以外の分野の本の貸し出しが少ない。
【保護者・地域の実態】
 ・落ち着いた生活環境にあり、保護者や地域は学校に対して協力的である。
教師の願い
 ・読書に親しむことで、教養を広げ、自らを成長させてほしい。
 ・読書は豊かな心・豊かな表現力そして品性を高めるので、多くの本に出会い親しんでほしい。

教員・司書等の連携
 ・管理職、国語科教員、司書教諭、学校司書、学校支援本部図書担当、済美教育センター図書館支援員等と連絡を密にし、生徒の読書活動の充実を図る。
 ・年2回程度、校内学校図書館連絡協議会を実施し、企画運営について情報共有、情報交換を行う。
 ・年3回の司書教諭研修、月1回の学校司書研修を通して、近隣小学校の学校図書館との情報交換を行い、連携を図る。
 ・成田図書館の図書館員と連携し、POPの掲示を行う。
 ・杉二小・東田小の学校司書、6学年教員と連携し、図書館体験行事を行う。

学校司書の活用
 ・図書館利用オリエンテーションやブックトークの実施
 ・図書館整備
 ・蔵書管理・蔵書点検
 ・生徒向け、教員向けの広報誌の作成・発行
 ・平日及び長期休業中の開館
 ・新着図書等の紹介
 ・授業やその他活動で活用できる図書の紹介
 ・図書館イベントの企画・実施
 ・学校支援本部図書担当の活動コーディネート
 ・公共図書館や近隣小学校等との連携

家庭・地域との連携
 ・小学生向け読書行事を通じて、家庭・地域において読書に親しむ環境をつくる。
 ・公共図書館や近隣小学校と連携し、団体貸出・相互貸出を活用する。
 ・成田図書館のPOP飾り付けを図書委員が行い、おすすめの本を紹介する。

小中一貫教育
 ・小学生図書館体験を実施し、学校図書館における小中一貫教育を推進する。